

発行: 2026 年 4 月 3 日

DUNLOP、元 F1 ドライバー ヘイキ・コバライネン選手とともに

2026 年イタリアラリー選手権に参戦

DUNLOP(社名:住友ゴム工業(株)、社長:國安 恭彰)は、2026 年シーズンより、元 F1 ドライバーのヘイキ・コバライネン選手とともに、イタリアラリー選手権(CIAR)に参戦します。

イタリアラリー選手権は、イタリア国内で最も格式が高く、トップチームや有力ドライバーが集う最高峰のラリーカテゴリーです。今回の参戦は、当社モータースポーツ活動のさらなるグローバル拡大を図る中で、コバライネン選手の CIAR 挑戦のタイミングと合致したことから決定しました。



右:ドライバー ヘイキ・コバライネン選手
左:コ・ドライバー パトリック・オーマン選手



車両:シトロエン C3 ラリー2

■ヘイキ・コバライネン選手 コメント

「ヨーロッパで再び DUNLOP と協力できることを、とても嬉しく思っています。私はこれまでのキャリアの中で多くのタイヤ開発に携わってきましたが、イタリアラリー選手権はタイヤをテストするには非常に競争力の高い環境です。私たちは勝てるタイヤを生み出し、育てていきたいと考えており、全員の努力と献身があれば必ず実現できると信じています。シーズンはすでに始まっており、現状のベースラインを把握し、次に取り組むべき明確な目標も見えてきました。

今回のコラボレーションを可能にしてくれた DUNLOP の皆さん、そして日本のファンの皆さまの変わらぬサポートに心から感謝しています！」

■イタリアラリー選手権(CIAR)概要

イタリアラリー選手権は、欧州でも屈指のハイレベルな国内選手権として知られ、全 7 戦すべてがターマック(舗装路)で開催されます。ターマックラリーの本場であるイタリアならではの高速かつテクニカルなステージ構成が特徴で、精密なライン取りや高度なブレーキング技術など、ドライバーには極めて高い走行性能と判断力が求められます。

また、同選手権は長い歴史を持つ名門イベントを多数擁し、欧州ラリー文化を支える重要なシリーズとし

て位置付けられています。WRC(世界ラリー選手権)や ERC(欧州ラリー選手権)で活躍するトップドライバーも数多く参戦し、国際的にも屈指の激戦区として高い評価を受けています。

さらに、若手有望ドライバーにとってはトップカテゴリーを目指す登竜門であり、メーカーやチームにとっては車両およびタイヤの技術開発を加速させる重要な舞台でもあります。世界最高水準のターマックラリー環境の下、実戦を通じて性能を磨くことができる世界で戦うための実力を養う最高峰のシリーズです。

■イタリアラリー選手権 参戦概要

チーム	ドライバー コ・ドライバー	車両	タイヤ
Gino Scuderia	Heikki Kovalinen Patric Öhman	シトロエン C3 ラリー2	DUNLOP DIREZZA 201R、301R

DUNLOP は、本参戦を通じて過酷なターマックラリーで得られる知見をタイヤ開発へとフィードバックし、さらなる性能向上とブランド価値の強化を図るとともに、世界のモータースポーツファンに向けて DUNLOP ブランドの存在感を一層高めていきます。

当社は 2026 年より、コミュニケーションブランドを DUNLOP に統一しました。DUNLOP は、「挑戦を支える安心」「期待を超える体験」「限界への挑戦」という 3 つの提供価値を、すべての商品・サービスで体現し、革新的な体験を通じて世界中の人々にポジティブな感情を生み出すことを追求していきます。ブランドステートメント「TAKING YOU BEYOND」には、挑戦するすべての人々の可能性を広げ、その先へ導く存在であり続けるという想いを込めています。



以上

<商品・イベントに関するお問い合わせ先>

タイヤお客様相談室 [TEL:0120-39-2788](tel:0120-39-2788)